

# 水害を防ぐ！地域を守る！

## 平成20年度津市水防訓練を実施

# 津消防タイムズ

第30号



津市木造町、雲出川緑地公園にて訓練を行う自主防災会

発行 津市消防本部  
〒514-1101  
津市久居明神町 2276

編集 消防総務課  
企画広報担当  
TEL 059-254-0353  
FAX 059-256-7755

協力 津市防火協会

火災などの  
お問い合わせ  
☎224-1881  
救急医療情報案内  
☎256-1199

### ○津市水防訓練を実施 地域住民等七〇〇名が参加

今年も本格的な出水期を迎えるにあたり、津市では六月一日、木造町の雲出川緑地公園で津市水防訓練が行われ、同市職員、同市消防職団員のほか、陸上自衛隊員、国土交通省職員、自主防災会、地域住民など約七〇〇名が参加しました。

訓練は、台風の接近に伴い三重県中部地方を中心に集中豪雨となり市内の河川が警戒水位を超え水防警報が発令されたとの想定で行なわれ、国土交通省の職員や陸上自衛隊員をはじめ、自主防災会や地域の消防団、同



↑ 大型土のう工法を作る陸上自衛隊員



↑ 懸命に作業する消防団員

↓ 国土交通省の災害対策車



市幹部職員らが一般的な積土のう工法や月の輪工法、連結水のう工法、せき板工法、かま段工法、クレーンを使用した大型積み土のう工法や鋼鉄等を用いた特殊工法まで迅速に展開し、各種水防工法を披露しました。

松田直久市長は、「地球温暖化が進み、災害がいつ起こるか分からない現状で、被害をいかに最小限にとどめるかが大切。今後市民の安全・安心のリーダーとして活動してもらいたい」と述べました。

## ○危険物安全週間

### 市内三十五箇所で開催

津市消防本部は、危険物安全週間（六月八日～十四日）に伴い、六月四日、津市戸木町のセルフ式ガソリンスタンド三重交通商事久居インター店で、スタンド職員四名、消防車三台、救急車一台、久居消防署員十名が参加し訓練を実施しました。訓練は、給油中に誤って出火したとの想定で行なわれ、実際に同スタンドの泡消火設備を使用し、実践しながらで行なわれました。



↑ 消火訓練を行うスタンド職員



↑ 化学消火訓練を行う久居署員

同スタンドの中村賢所長は「火災はあつてはならないが、普段から訓練を行い、皆様が安心して給油できるように万一の事態に備えたい」と述べていました。

同市消防本部ではこのほか約三十五の危険物施設で訓練等を行い危険物の安全管理に努めるよう指導を行いました。

## ○県消防協会中勢支会

### 夏期訓練を実施

津市内の十消防団で組織する三重県消防協会中勢支会が、六月十五日、メッセウイングみえ（北河路町）で開催されました。

訓練は団員三七一名が参加し、蒸し暑い中行われ、前日の十四日に岩手・宮城内陸地震や、四川大地震（中国）、ミャンマーでのサイクロンの災害など、国内外で大きな災害が続いている中、災害に強い街を作るため、真剣さながらでの訓練となりました。

松田直久津市長は、「万一の災害時には、地域の安全・安心を守る防災リーダーとして、活躍して欲しい」と述べていました。

また七月十九日に県消防学校で行われる県消防操法大会に出場する津市津消防団と津市久居消防団の訓練も披露さ

れてきばきとした操法に拍手が送られました。県消防操法大会での上位入賞が期待されます。



↑ 心肺蘇生法やAEDの取扱い訓練も行われました



↑ 一斉に操法訓練を行う消防団員

## ○白山消防署白山署で

### 職場体験学習

白山消防署白山署では、本年四月から六月末までに計八回、県立白山高校三年生の職場体験学習（インターシップ）を行っています。

生徒らは、消防の基本的な知識から、消火訓練や救急訓練など多岐にわたる行われ、普段の授業とは異なった学習を行っています。生徒の中には、「将来は、消防職員になりたい」と語っていました。



↑ 熱心に講義を受け白山高校の生徒



↑ 心肺蘇生法を受講する生徒

## ○津市防火協会

### 新入者研修を実施

津市防火協会は、六月二十三日、同協会会員事業所の新規採用職員等を対象とした、防災・初期消火技術・救命技術等を習得することを目的とした、新入者研修会を、同市久居体育館で行いました。

研修は市内二十五事業所、五九人が参加し、同市消防本部、同市消防防災指導センターの職員の指導のもと、消火器や屋内消火栓を用いた初期消火訓練、AEDや心肺蘇生法等、各種研修を行いました。

参加者からは、「いざという時に役立てたい」と話していました。

同市防火協会では、さまざまな防火・防災活動を行っています。協会の活動や入会等のお問い合わせは、津市防火協会事務局 ☎（二五六）四二二二まで。

# がんばれ Rescue! 中消防署 西分署 (障害突破隊)



## ○中消防署 西分署 障害突破隊

今月は、先月に引き続き、東海地区消防救助技術指導会に出場する中消防署西分署の障害突破隊員の紹介をします。

この障害突破という種目は、五人一組で行われ、スタート地点からゴール地点までに設けられた五つの障害（高塀・梯子・ロープ渡過・緊急脱出・呼吸器を着装しての煙道）を隊員全員が互いに協力して突破するまでの安全確実性と所要時間を評価するものです。

隊員の今年のチーム目標は、「全国大会出場！」メンバー個々の能力、ポテンシャルは高く、チームリーダーの岡田昌成隊員は「いかに大会で普段どおりの力を発揮できるかが課題です」と語っていました。大会や、日々の災害時に平常心で臨めるよう、市内の寺院にて禅の修業も行いチームワークの結束を行っています。日々の訓練は厳しいですが、救助隊員としての「愛・技・絆」をテーマとして訓練に臨んでいます。

この日々訓練に励む五人について、一問一答形式でレポートしてみました。

質問項目については、次のとおりです。

- ① 救助隊になったきっかけ
- ② 救助訓練を通じてあなたが目標とするテーマは？
- ③ 実務も含め、救助隊をして良かったことは？
- ④ 日々の訓練等で辛いことは？
- ⑤ 余暇はどんなことをしていますか？
- ⑥ 最後に好きなことをどうぞ



**岡田 昌成 (二七歳)**  
三番員 (チームリーダー)

- ① 清水中隊長に声をかけて頂き、やってみたかったから
- ② 訓練で得た体力・技術・精神力を現場で活かせるようがんばります
- ③ 体力・精神力が付いたこと
- ④ 雨天時の訓練塔ダッシュ連続五十本&登はん五十本
- ⑤ 子供と遊ぶ
- ⑥ 青木分署長を胴上げします！



**山本 直紀 (二二歳)**  
一番員

- ① 清水中隊長に声をかけて頂き、やってみたかったから
- ② 障害突破で養った何者にも負けない不屈の精神や技術を、現場で活かせるよう頑張りたい
- ③ チームワークの大切さ
- ④ 雨天時の訓練塔ダッシュ連続五十本&登はん五十本
- ⑤ 睡眠です
- ⑥ 全国大会に出場したら結婚します



**前川 寿宏 (二六歳)**  
二番員

- ① 以前身近で見て憧れたから
- ② 当たり前の事をいかに速くできるか「自分への挑戦」
- ③ 感謝の一言がやっついていて良かったと感じます
- ④ イメージどおりいかない時。雨

の日に訓練塔を一時間駆け上がることに

- ⑤ 新しい車を探しに車屋さんに行っています
- ⑥ 救助訓練をさせて頂くことに感謝しています



**内藤 貴人 (二五歳)**  
四番員

- ① 障害突破について先輩から熱く語って頂き、興味があったから
- ② 救助技術の習得・向上
- ③ 自分自身の知識の引き出しが、少しずつ増えていると感じること
- ④ 訓練塔ダッシュ連続五十本。経験したことのない疲労感
- ⑤ 主に睡眠
- ⑥ 常に感謝の気持ちを忘れずにいたい



**前野 雄二 (二九歳)**  
五番員

- ① オレンジへの憧れ
- ② 訓練で培った技術・体力・精神力を災害現場で活かす
- ③ チームで絆が深まったこと
- ④ 雨天時の訓練塔ダッシュ連続五十本&登はん五十本
- ⑤ 子供と遊ぶ
- ⑥ 訓練を支えてくれる方々に感謝

※ 障害突破の訓練は、西分署にお越しただければ、訓練を自由に見学出来ますので、地域の安全・安心を守る消防救助隊員の勇姿を一度ご覧になってはいかがでしょうか。

次号は白山消防署白山署のほふく救出隊を特集します。

# 地域を守る消防団！ ～三重県消防操法大会出場に向けて～

## ○津市からは

### 二団が出場！

地域を守る消防団の日頃の訓練の成果を競う三重県消防操法大会が七月十九日同県消防学校において開催されます。

津市からは津市津消防団と津市久居消防団の二団が出場する予定です。

今回は暑い中、大会に向けて日々訓練を行っている団員を紹介いたします。

## 【津市津消防団】

旧津市を管轄とする津市津消防団は、週三回、小型ポンプ操法という種目に出場するため、津市中消防署安濃分遣所にて訓練に励んでいます。



サブリーダー  
木平伊都

訓練隊長  
今井 徹

訓練総括  
原田日出夫

指揮者  
大森秀樹

リーダー  
井上敦之

訓練隊長  
赤塚重一



補助員  
宮田謙治郎

二番員  
前野桂三

指揮者  
伊藤和司

訓練隊長  
森 貴司

補欠  
奥田高正

三番員  
垣野祐一

一番員  
岸江直彦

訓練副隊長  
北岡伸之

## 【津市久居消防団】

旧久居市を管轄とする津市久居消防団は、週四回、津市津消防団と同様に小型ポンプ操法という種目に出場するため、久居消防署久居署、三重県立久居高校等で訓練に励んでいます。



三番員  
久保治信

一番員  
真川哲也

二番員  
伊藤真一

## ～ 5月中の災害 ～

**火災 8件 (56件)**  
**救急 880件 (4,536件)**  
**救助 12件 (63件)**  
( )内はH20年累計

※ 今月の消防署だより、カメラアングルはお休みをさせていただきます。



↑ 津市久居消防団



↑ 津市津消防団

## ○編集後記

六月十四日、穏やかな土曜の朝、テレビは震度六強を記録した岩手・宮城内陸地震の悲惨な情景を映し出し出していました。このような仕事をしていると、何も出来ない自分が心が痛みます。

東京消防庁をはじめ多くの消防機関の応援隊が早期に救援活動に向かい、激しい余震の中、懸命に活動していただきました。同じ消防職員として、誇りに思います。

先月は四川大地震(中国)が起きたばかりで、国内外で大きな災害が続いています。いつ起こるか分からない災害に備え、私たちも今一度ご家庭の防災対策について考えて下さいね。(大東雄一)

## ☆ 7月の行事予定 ☆

- 7月2日  
新長野トンネル合同訓練  
(R163 津市美里町～伊賀市大山田間)
- 7月9日～11日  
防火管理者講習  
(三重県民文化センター)
- 7月19日  
平成20年度三重県消防操法大会  
(三重県消防学校)